

## 第2回全国支部長会

支部活性化に向け事例発表、  
夏のシブコンを総括

↓ 静岡（浜松）支部長の発表



↑ 挨拶に立つ本多英夫会長

全国支部長会が11月1日（日）に神田キャンパスで開催されました。全国から新旧の支部長が集まり、夏の支部懇談会を総括したほか、群馬、静岡（浜松）、広島の3支部による活動事例発表が行われました。

今回の全国支部長会では、支部活動の事例発表が行われました。

群馬支部は2012年より支部独自で冬に開催している就職座談会について発表。支部会員の関心の高いUターン就職について、群馬県若者就職支援センターの方に講演いただくなどして毎年好評を得ています。静岡（浜松）支部は、支部懇談会に役員一同揃いのTシャツで臨みました。来場者からはスタッフが一目瞭然でわかり、さらに役員の間一体感が生まれたそうです。広島支部は校友会広島支部との連携を深め、学生のUターン就職の支援にも結び付けています。また、市内清掃活動である「ゴミゼロクリーンワーク」に校友会広島支部とともに専修大学のロゴ入りTシャツを着用して参加し、大学のPRにもなっているそうです。

3支部の発表に対し、他の支部長からは意見や質問が上がりました。本多英夫育友会長は「参考になることがあれば各支部に持ち帰り、今後の活動に役

立てていただきたい」と呼びかけました。

その後、出雲高志副会長が平成27年度支部懇談会開催結果について以下のとおり報告しました。

〈出席者数は2,697名で前年度比190名増、出席率は15.7%で前年度比1.1ポイント増。新入生会員を対象とした歓迎会を実施している支部も多く、支部懇談会の充実した内容が事前に周知されていることが、一年次会員の出席率増加の要因の一つと考えられる。参加者のアンケートからは「先生の説明が具体的でわかりやすい」「就職情報が参考になった」「DVDの内容がよく編集されていた」と満足の声を多くいただいたが、課題や要望については次年度以降の検討材料とする。〉

その後、支部活動の支援について本多会長から、支部運営及び来年度支部懇談会開催について小川裕則事務長から報告がありました。最後に、校友会水崎保男副会長が校友会について紹介し、第2回全国支部長会は終了しました。